

市内の脱炭素化に向けた取組の一環として、ごみ焼却時に発生する蒸気を有効活用する実証試験を開始しました

横浜市と東亜合成株式会社(以下、「東亜合成」という。)は、ごみ焼却に伴い発生する蒸気を有効活用し、東亜合成の化石燃料使用量削減と市内の二酸化炭素(以下、「CO₂」という。)排出量削減を目指す「ごみ焼却熱有効利用実証試験」を開始しました。

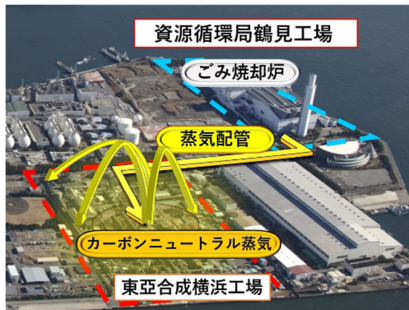
1 取組概要

ごみ焼却工場で発生する蒸気は、化石燃料を使用しないため、CO₂ 排出量ゼロの環境にやさしい熱エネルギーです。京浜工業地帯に位置する鶴見工場では、周辺産業への蒸気供給による地域の脱炭素化を検討してきました。

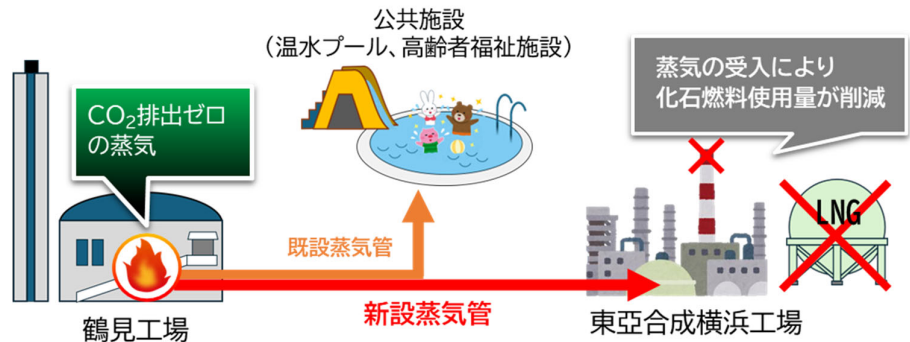
今回、鶴見工場近隣の東亜合成横浜工場が化学製品の製造に化石燃料由来の蒸気を使用していることから、鶴見工場の蒸気をパイプラインで供給することで、CO₂排出量ゼロの蒸気に置き換え、CO₂削減効果の検証を行います。

本取組は、脱炭素を目的として、自治体が運営するごみ焼却工場から民間事業者へ蒸気を供給するものであり、横浜市では初めての事例です。全国的に見ても同様の事例は極めて少なく、ごみ焼却工場における蒸気供給のモデルケースとなります。

さらに、化石燃料を使用しない廃棄物由来のエネルギーは、石油への依存が大きい我が国において、経済安全保障の観点からも、将来にわたり安定したエネルギー供給体制に貢献するものと考えます。



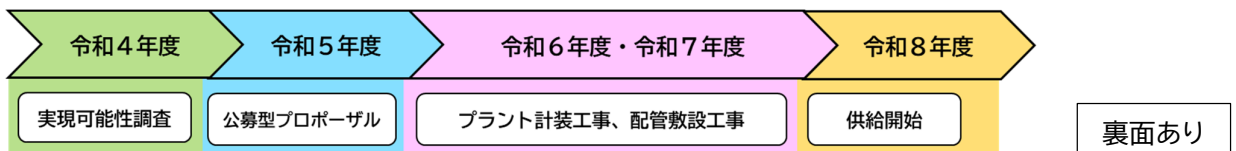
鶴見工場周辺地域の熱供給の全体図



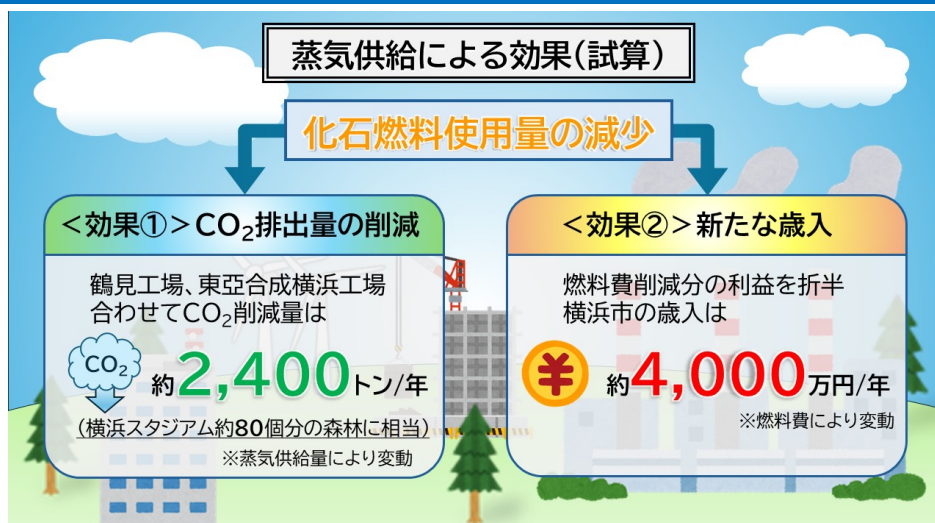
蒸気供給のイメージ(イラスト)

2 事業スケジュール

令和4年度から実現可能性調査を開始し、令和8年4月より本実証試験を開始しました。なお、実証試験は、令和8年度から12年間を予定しています。



3 取組効果(見込み)



4 東亜合成株式会社について

- ◆東亜合成株式会社の主な事業内容
 - 基幹化学品事業(カセイソーダ、硫酸、アクリル酸など)
 - ポリマー・オリゴマー事業(高分子凝集剤、光硬化型樹脂など)
 - 接着材料事業(瞬間接着剤「アロンアルファ」など)
 - 高機能無機材料事業(半導体向け高純度製品、無機抗菌剤など)
- ◆横浜工場の事業内容
 - カセイソーダ、塩酸、次亜塩素酸ソーダ、易溶性酸化銅、高純度液化塩化水素などを製造

TOAGOSEI



5 事業開始に伴う記念式典(セレモニー)



テープカット



各代表集合写真

(テープカット) 左から 横浜市 生井部長、吉川局長、鈴木副市長、東亜合成(株) 小淵社長、野村上席執行役員、岡田事業部長

(集合写真) 上記テープカット出席者に加え、以下の施工会社代表者が出席

左から (株)カゲビエンジニアリング 森本社長、三菱重工環境・化学エンジニアリング(株) 古賀常務執行役員、(株)桐ヶ谷工業所 桐ヶ谷社長

お問合せ先			
【蒸気供給に関すること】	横浜市資源循環局施設課長	草刈	Tel 045-671-2527
【鶴見工場に関すること】	横浜市資源循環局鶴見工場長	田島	Tel 045-521-2191
【東亜合成に関すること】	東亜合成株式会社コーポレートコミュニケーション部		Tel 03-3597-7215



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

